

上議第850号
平成29年12月28日

上越市長 村山 秀幸 様

上越市議会議長 内山 米六

市民と議会の意見交換会で聴取した市民意見への対応について

市議会では、上越市議会基本条例に基づき市民と議会の意見交換会を11月12日～17日に開催し、4会場で寄せられた47の意見等について、課題調整会議においてその対応方針を協議いたしました。

つきましては、課題調整会議で行政運営の参考にしていただきたい「意見等」を整理しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、意見や対応方針等については、議会だよりや議会のホームページで公表していきますのでご承知おきください。

また、あわせて、前回までの課題調整会議において、各常任委員会等で対応を協議することとした案件について、課題調整会議に協議結果の報告がありました。

そのうち「行政に市民の提案を伝える」との結論となった案件についても、下記のとおりお知らせいたします。必要に応じ対応いただくよう要望いたします。

記

1 行政運営の参考にしていただきたい意見等 【11件】

(1) 学生向けシェアハウスについて

「シェアハウスは、リフォームなのに3,400万円かかっているのはどうなのか。学生向けにアパートを建てるのとどっちが安いのか。町中の再生という意味もあると思うが疑問がある。また、入居者の件はどうなっているのか。」(合併前上越市)

(2～4) 住宅用火災警報器など設置について

「昨年、自主防災組織の資料が出たが、そこには初期消火がある。消火用のホースは地域で用意とのことだったが、それでいいのか。防災ラジオは無償だが、住宅用火災警報器や消火器は自前である。家庭ではどこまで自前なのか。火災は自分だけの問題ではない。補助や設置のあり方について深く掘り下げて検討してほしい。」

「住宅用火災警報器は10年で更新が必要だが、自己負担はたいへん。取り替えも自分ではできないので負担が大きい。検討してほしい。」

「住宅用火災警報器は電池のみの交換はできないと聞いている。また、自ら器具を用意すれば、消防署で設置するサービスもある。こうしたことをもっと周知すべき。」

(全て合併前上越市)

(5) 民生委員の選任について

「民生委員のなり手がいない。新たな人材を確保するため、民生委員の苦情等を吸い上げてほしい。」(中郷区)

(6) イノシシ対策について

「イノシシ対策について、電気柵はイノシシが他の地域に移動するだけでイタチごっこになっている。捕獲量が少なく消費の仕組みもない。根本的な解決につながるよう、工夫した取組をお願いしたい。」(浦川原区)

(7～8) 地域おこし協力隊について

「地域おこし協力隊に関し、木田のルールが厳しく定住に結びつかない。総合事務所が主体となって自由度を高めてほしい。」

「地域おこし協力隊の受入れは、ハードルが高そうで、地元が尻込みしてしまう。十日町市のように、行政ではなくNPOなどの団体が窓口になり、地域と連携して取り組めたら良い。協力隊員の数が少ないと孤軍奮闘になり、孤立してしまうケースがある。人数が多ければ、隊員同士で支え合える。」(ともに浦川原区)

(9) 空き家対策について

「移住政策について、市の空き家バンクは貧弱すぎる。県の空き家バンクへのリンクもない。国において、バンクの全国一元化の動きがあるが、上越市の情報が掲載されないのではないかと危惧している。空き家対策は建築住宅課、移住政策は自治・地域振興課で所管が異なっているが、改善してほしい。」(浦川原区)

(10) 自衛隊演習の騒音について

「自衛隊演習におけるヘリコプターや訓練等の騒音で市民活動が脅かされている。」(中郷区)

(11) 総合事務所の権限強化について

「総合事務所の権限を強化してほしい。このところ1年おきに所長が変わっており、地域の意見が届いていないのではないかと。改善してほしい。」(中郷区)

2 各常任委員会等で協議した結果、「行政に内容を伝える」等の結論となった意見

(1) 【課題調整会議（市民意見：H29 No.2）】

空き家対策は他市に比べ、遅れている。空き家バンクは補助も建築住宅課であるが、他市では適切な窓口で移住希望者に丁寧な相談に乗っている。市民団体等へ費用補助を推進し、移住相談を常勤で委託し、常勤者で移住相談できるように議論してほしい。立地適正化を進めるには補助金の適切な使い方、移転する人にも危険空き家にならないうちに助成するなどが必要。民間団体とも連携をしてほしい。空き家購入の補助金も充実を図ってほしい。

【建設企業常任委員会の協議結果】

「上越市空き家等対策計画」に基づく取組などを注視しつつ、委員会として議論を進めていくとともに、行政に提案内容を伝える。

(2) 【課題調整会議（市民意見：H29 No.4）】

他市では行政が空き家の所有者に制度の内容を丁寧に紹介する取り組みを行っている。板倉では、空き家を具体的にどうするかを地域協議会や町内会長会などで丁寧な調査をしているとのことだが、行政がそれをストップしているという。事情を調査してほしい。

【建設企業常任委員会の協議結果】

行政に提案内容を伝える。

(3) 【課題調整会議（市民意見：H29 No.7）】

板倉の空き家対策を3年ぐらい前からやっているが、市に待てと言われて待っていた。板倉でまとめたものがダメで、全市でまとめたものがよいのか。なんのための自主審議なのか。

【建設企業常任委員会の協議結果】

行政に提案内容を伝える。

(4) 【課題調整会議（市民意見：H28 No.82）】

犀潟駅に全列車が停車するように働きかけてもらいたいし、駅にエレベーターもない。また、ほくほく線の列車内にトイレがなく不便である。

【交通政策調査対策特別委員会の協議結果】

行政に意見を伝えるとともに、機会をとらえて鉄道会社にも要望していく。